2019年度（平成31年度）「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン
〈学校用〉

校番（17）番　福山市立芦田中学校

1　育成する力（21世紀型“スキル＆倫理観”）

育成する21世紀型“スキル＆倫理観”	問題解決・意思決定	コミュニケーション	思いやり
めざす子ども像（21 世紀型“スキル＆倫理観”を身に付けた児童生徒の姿）	自らの考えを持ち，既習事項，収集した情報や生活体験などを根拠にして，比較，分類，関連付けて物事を考え，解決している。	多様な他者との意見の違いを認め，思考・判断したことをわかりやすく表現したり，議論している。	地域や社会との関わり合いを通して，人としての思いやり，周りへの感謝の心を持ち，その気持ちを行動や言葉に表している。

2　授業の現状

「言語活動の工夫」「書く活動の工夫」などを柱とした授業研究を行い，問題解決学習を取り入れた授業改善に取り組んだ。そので自分の考えをきちんと述べることができる生徒が増加した。「授業で考えることが面白い」と考えている生徒が多くいるが，生徒同士で自らの考えを深めて，思考力を高めていくことにはまだ課題がある。

転換

3　めざす授業の姿

○生徒の学習意欲を喚起させる導入の工夫が行われている。
○教師が話し過ぎず，生徒自らが思考し，言語活動を充実させている。
○目標を達成させるために必要な協働的な学びの場を適切に設定している。
○多様な考えを引き出す問いの工夫が行われている。
○本時の目標に対応したまとめを生徒が自分の言葉で表現している。

4　めざす授業に向けた取組の具体

４月からの取組

・生徒が主体的・対話的に考え行動できるよう言語活動を中心としたペア，グループを活用する機会を多く持つ。
・生徒の興味・関心を高める導入の工夫や多様な意見を引き出す発問の工夫を行う。

８月末の状況

・「授業で考えることが面白い」の生徒アンケートの結果は，肯定的評価が82.4%であった。また「授業で友達と協力してやりとげることが面白い」の結果は肯定的評価 89.3%であった。
・「授業で友達のいろいろな意見を聞くことが面白い」の生徒アンケートの結果は肯定的評価が79．8%であった。
・市内一斉研修では英語，保健体育，校区合同研修で道徳の授業を公開した。校内研修として授業参観を行い，協働的な学びの場の設定や問いの工夫などについて成果と課題を交流した。

９月からの取組

・研修で交流した授業改善のポイントと授業アンケートの項目内容を授業に取入れる。
。協働的な学びの場を効果的に設定するために単元を意識した授業づくりを行い，単元の振り返りシートを二学期に取り入れる。
・校内研修では，美術，市内一斉研修では，英語，国語，数学，社会の授業研を実施する。成果や課題をもとに生徒の成長が実感できるよう授業改善を行う。

１２月末の状況

・「授業で考えることが面白い」の生徒アンケートの結果は，肯定的評価が 82.7%であった。また「授業で友達と協力してやりとげることが面白い」の結果は肯定的評価 89.1%であった。
・「授業で友達のいろいろな意見を聞くことが面白い」の生徒アンケートの結果は肯定的評価が 87.0%であった。
・市内一斉研修では英語，国語，数学，社会の授業を公開し，校内では美術の研究授業を行った。
・単元の振り返りシートについての研修を行い成果と課題について交流した。

１月からの取組

・単元を通してつけさせたい力を意識して授業づくりを行い，協働的な学びの場を効果的に取り入れる。
・単元の振り返りシートを活用し，生徒が学習内容の見通しをもち学んだことを，自分の言葉でまとめさせる。
・生徒の多様な考えを引き出すための問いの工夫を行う。

２月末の状況

5　取組の結果等

数値は2019年（令和元年）調査等の状況

全国学力・学習状況調査（%）

国語	68.0(−6.0)
算数(数学)	49.0（− 11.0）
英語	51.0（− 5.0）

（ ）は県平均との差

〈児童生徒質問紙調査〉（%）　（肯定的評価）

自分にはよいところがある	85.7(+7.6)
先生はよいところを認めてくれる	78.5(−4.0)
将来の夢や目標を持っている	78.6(+3.2)
人の役に立つ人間になりたい	98.3(+2.8)

「基礎・基本」定着状況調査　〈児童生徒質問紙調査〉（%）　（肯定的評価）

学校へ行くのは楽しい	80.5
やりなさい」と言われなくても，自分から進んで勉強をしている	65.9
授業では，課題について，「なぜだろう」「やってみたい」と思う	58.5
授業では，友だちと話し合うなどし，考えを深めたり広げたりしている	82.9

暴力行為発生率・不登校児童出現率　（%）　（12）月末現在

暴力行為	0.0

不登校	7.1

体力つくり改善計画　【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
（男子） 11／24 （女子） 16／24	男子の握力を1kg伸ばすことは達成できた。女子の握力は向上したが，2kg記録を伸ばすことには至っていない。	男女とも全学年の握力，20mシャトルラン，男子の反復横跳びが昨年の県平均値より低い。	授業でハンドグリップを用いたトレーニングを継続する。また，生徒が主体的に取り組めるようグループ活動を工夫した体育授業の改善を行う。

目標値	「体育の授業ですすんで体を動かすことができる生徒」を90%以上にする。 握力の記録を男女とも2kgのばす。

福山100NEN教育アンケート〔対象：授業者〕（%）

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	63.7	36.3
仕事に充実感がある	63.6	36.4

児童生徒アンケート（%）　（1）月実施

質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	82.7	17.3
自分の考えは，認められている	78.7	22.3